

令和8年3月定例会一般質問 要約版

質問者 永友 美智子 議員

【移動手段について】

まず、川南町の公共交通の現状について伺います。昨年度から議会では町民の皆様との意見交換会を実施しており、その中で「電車で川南に来たが、駅からの移動手段がなく困った」という切実な声を聞きました。その方は猛暑の中、川南駅から宮崎病院まで徒歩で向かわれたとのこと。私自身、普段電車を利用しないため、駅周辺でタクシーがつかまらない、あるいは長時間待ちになるという状況を十分に把握できておらず、非常に驚いた。

川南駅からの移動手段について

質問1

議員：電車で川南に来た人が、交通手段がなく困っている。状況把握並びに対策をどのように考えているか。

まちづくり課長：現在川南町のタクシー会社はあい交通さんのみ。対策に関しては、あい交通さんが営業していない夜間・日曜日の時間帯、高鍋から来るよう手配する。その際迎車回送料金相当分の運行経費を補助する。このタクシー運行補助事業をR8年度予算に計上している。

質問2

議員：しかし、私が問題としているのは、平日の昼間でもタクシーが1~2時間待ちになるケースがある点である。電車で来られる方の多くは町外の方であり、観光や通院で訪れる方が駅で長時間待たされる状況は、町の印象にも大きく影響する。また観光振興や交流人口の拡大を目指すのであれば、昼間の移動手段確保も重要な課題であり、補助制度の対象拡大など、さらなる検討をお願いしたい。

まちづくり課長：町としては、バス・タクシー事業者の経営を圧迫する施策は取り入れるべきではないという考えを持っている。慢性的な運転手不足、燃料高騰、また利用者の利便性、町の財政状況など総合的に判断して、引き続き検討していく。

公共ライドシェアについて

質問3

議員：昨年9月議会で同僚議員から提案があり、その際「タクシー事業者と市町村が共同運営する方式が現時点で最も実現可能性が高い」との答弁があった。全国的にもドラ

イバー不足や人口減少を背景に公共ライドシェアを導入する自治体が増えている。川南町でも、国の制度見直しを注視しつつ、タクシー協会や運輸局との協議を重ねているとのことだった。特に、町内のタクシー事業者は1社のみ、台数も2~3台と限られており、広域連携を含めた早期検討をお願いしたい。

まちづくり課長：公共ライドシェアに関しての運用方法、それに対する補助事業はあるのか、登録を受ける為に要する期間、宮崎県タクシー協会の協力をどのような形で得られるかを現在検討中。

町外移動について

質問4

議員：町外へ移動する際の負担軽減のため、オンデマンドバスと広域コミュニティバスの乗り継ぎ改善はできないか。高齢化が進む中、誰もが安心して移動できる交通環境づくりが必要だと思う。

まちづくり課長：町民の皆様の利便性向上に向け、オンデマンドバスから高鍋町から都農町を結ぶ広域的コミュニティバスへの乗り継ぎについて、バス停の位置変更等、スムーズな乗り継ぎが実現できるよう、関係機関と連携し調整を進めていく

シャトルバスについて

質問5

議員：現在トロントロンドームと川南駅を結ぶシャトルバスが9便ほど動いているが、このバスの利用状況と周知方法について伺います。

まちづくり課長：このバスは高校生の送迎車両による川南駅前の混雑緩和を目的として運行している。令和6年度の実績では大人が353人、高校生以下が9585人でした。大人の利用人数を運行日数で割ると、1日平均1.21人となる。時刻表などの情報については、町のホームページに掲載している。時刻表に変更が生じた場合は"お知らせ川南"やSNS等で案内している。

議員：年間900万円近い運行経費を考えると、もっと多くの方にご利用頂けたらと思う。駅構内でのより目立つ案内や、利用者層に応じた周知方法の工夫をお願いしたい。